

INFORMATION

あなたが 主役の「環境あきた」

環境あきた

AKITA

2003
夏号

県民フォーラム 通信

発行 / 環境あきた県民フォーラム事務局
〒010-1403
秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内
TEL090-6781-8040 FAX018-829-5803
E-mail:mail@eco-akita.org ホームページ:http://www.eco-akita.org

ワールドソーラーカーラリー開催

今年もクリーンエネルギーの未来の車(ソーラーカー)が“太陽の村”に大集結。真夏の太陽の下、マラソンレースが繰り広げられる。7月31日にはタイムトライアルが開催される。

開催場所 大湯村ソーラースポーツライン
開催日 7月29日(火)~7月31日(木)
8月1日(金)~8月3日(日)

詳しいことは
WSR実行委員会事務局
TEL 0185-45-3999
FAX 0185-45-2162
URL http://www.ogata.or.jp/

グリーン購入大賞募集

企業、団体のグリーン購入の取り組みを表彰する「グリーン購入大賞」の募集が始まった。グリーン購入及び普及に優れた取り組みに対する「環境大臣賞」、グリーン購入を促進する優れたコミュニケーションに「経済大臣賞」が授与される。ことしは特別部門として環境に配慮したホテル・旅館の表彰も行われる。

応募要領については
グリーン購入ネットワーク(GPN)事務局へ
URL http://eco.jp/gnp/
連絡先 県環境政策課環境企画班 池田まで
TEL 018-860-1602

環境メッセージ募集

NHKではテレビ放送50周年を記念した事業の一環で「『環境メッセージ』大募集」と題して皆さんの環境に対する取り組みや発言など、メッセージを募集している。応募いただいたメッセージは放送などで紹介することになっている。

応募要領については
NHK「環境メッセージ」係まで
TEL 03-3466-1000 FAX 03-3481-1372
URL http://www.nhk.or.jp/kankyo/campaign/app.html

森林ボランティア団体イベント(秋田県緑化推進委員会関連)

大館自然の会 0186-42-5983

- ・7/6 プナ植林地の下草刈り
- ・11/2 長木川源流にプナを植える市民の集い
矢立自然友の会 0186-46-3301
- ・6月~10月 県境3山歩道の補修
周回ルートへの案内板の設置
白神ネイチャー協会 0185-70-4100
- ・10/4~5 プナ植樹ボランティア事業
風の松原に守られる人々の会 0185-58-3089
- ・7/27 植物観察会
- ・10/8 後谷地国有林クリーンアップ
- ・12/10 松くい虫被害の状況観察
横手川と水環境を考える会 0182-32-2111
- ・7月上旬 水辺の遊び体験学習
- ・9/21 水と樹木のシンポジウム
- ・10/19 ふるさと森づくりと語り
- ・2月中旬 ボランティア研修会

平成15年度循環型社会形成実証事業募集

環境省では、民間団体や事業者が地方公共団体と連携し、リデュース・リユース・リサイクルやグリーン購入の推進など循環型社会の形成に向けて実施する事業であって、他のモデルとなるような創意工夫がなされたものを公募している。

応募要領については
環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課
循環型社会推進室まで
TEL 03-3581-3351(内6819) FAX 03-3593-8262
電子メール:JUNKAN@env.go.jp
URL: http://www.env.go.jp/press.php3?serial=4157

夏休み子供環境教室の開催について

環境センターでは、子供たちに環境問題に対する関心と理解を深めてもらうために夏休みを利用して「夏休み子供環境教室」を開催します。水や大気などの簡易測定を行う予定です。

日程・内容など詳細、申込みに関しては
〒010-8572 秋田市山王3丁目1-1 秋田県環境センター
「夏休み子供環境教室」係
TEL018-860-4013 FAX018-860-4016
E-mail erica@pref.akita.jp



入会について

あなたも参加しませんか

私たち自身のため、未来の子供たちのため、秋田の環境をよりよくしていこうというネットワークづくりの団体です。ホームページやニュースレターを通じて、様々な立場での環境に優しい行動を紹介し広く連携を呼びかけます。入会資格は「秋田の環境を大切に思っている」ことだけで、個人、企業、団体などどなたでも入会できます。

会費納入について
秋田銀行 県庁支店 普通 560425 北都銀行 山王支店 普通 6099633
郵便振替口座 02280-7-76146 いずれも環境あきた県民フォーラム宛です。
なお、ニュースレター送付の都合上、銀行振込の場合は事務局に御住所、お名前を御連絡ください。

区分	会費	該当するもの
企業・企業関係団体	1口:1万円 年1口以上	企業・業界団体など
個人・民間団体	1口:1,000円 年1口以上	消費者団体・地域団体・町内団体・ボランティア団体など

環境あきた県民フォーラム事務局

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内
FAX 018-829-5803 TEL 090-6781-8040
Eメール mail@eco-akita.org ホームページ http://www.eco-akita.org

事務局からのお願い!
環境に優しい活動をニュースレターやホームページで紹介させていただきたいと思っています。ぜひとも、地域、学校、いろいろなところでの活動の情報をお知らせください。お待ちしております。(事務局 高村)



目次

平成15年度環境あきた県民フォーラム総会	... 2
事務所移転のお知らせ	
第3回エコ&リサイクルフェスティバル	... 3
北鹿地区環境ビジネスネットワーク	
地球環境と共存共栄	... 4
会員活動紹介	... 6
インフォメーション	... 8

平成15年度環境あきた 県民フォーラム総会

平成15年4月19日(土)午後1時から、秋田県児童会館を会場に平成15年度総会が行われました。当日は雨の中、約160人の参加をいただき本当にありがとうございました。

総会は、山本久博・環境あきた県民フォーラム代表、佐藤憲之助・秋田県生活環境文化部長あいさつに続き議事に入り、平成14年度事業報告及び収支決算報告、会計監査報告、平成15年度事業計画、平成15年度収支予算、規約の一部改正等が事務局より報告、提案されいずれも承認されました。

総会終了後、太平洋単独横断のヨットマン堀江謙一氏による「未知への航海」と題した特別講演がありました。また、当日の参加者へのアンケートからは環境啓発・環境教育に力を入れるべき、自然豊かな秋田県に住んでいるせいか危機感が足りない等の意見・感想がありました。



山本代表あいさつ要旨

フォーラムの活動は、1年たってようやく途についたというところ。環境の現状は、待ったなしということで、将来の子供たちにいいものを残せるようにしたい。背に腹はかえられないから、環境のことは後回しという問題ではないので、始められることからみんなで協力し合ってやっていきたい。

佐藤秋田県生活環境文化部長あいさつ要旨

「あきた21総合計画第2期実施計画」にも載せている県政の基本的な柱の重点事項として環境豊かな県土をつくるということが掲げられている。県民の皆様から県政への要望ということでも福祉と環境ということが必ず言われる。平成13年3月にISO14001を県庁として取得し職員が一丸となって、より環境に優しい県庁を目指しているところ。環境あきた県民フォーラムの会員の皆様それぞれの立場で活動されていることに心から敬意を表するとともに今後の事業計画に期待している。

特別講演「未知への航海」堀江謙一氏

高校生のときに初めてヨットを知り、1962年に単独太平洋横断をして以来、西回り単独無寄港世界一周、縦回り世界一周、世界最小ヨットでの太平洋横断と次々と冒険を続けてきた。冒険の原点は「できるだけ高い目標、できるだけ高いハードルを乗り越える」ということであり、50代に入ってから人力の足漕ぎボートにも挑戦した。若いうちではなく、なぜ体力の衰えはじめる50代でチャレンジしたかということ、航海を続けるうちに、足漕ぎボートの挑戦もできるのではないかと思った。つまり、行動することによって今まで見えなかったものが見えてくるということである。



その後も現在まで、アルミ缶リサイクル材料のソーラーボート、生ビール樽の双胴ヨットなど、新たなチャレンジを続けている。

平成15年度幹事紹介

山本 久博・ワールドソーラーカーラリー組織委員会	小西 知子・NPO法人NPO事業化支援研修センター
那須チカ子・秋田環境カウンセラー協議会	橋 鑪司・東北緑化環境保全(株)秋田支店
柏谷 葉子・アキタラブライフスクール	藤原 儀弘・アキタエンジニアリング(有)
土方 博生・(株)秋田ケーブルテレビ	小西 和博・(株)販促
吉田 安孝・秋田県緑化推進委員会	木川 弘・秋田市クリーンアップ作戦を進める会
三浦 緑・秋田県森の案内人協議会	

事務所移転のお知らせ

県庁環境政策課にありました事務局が、去る4月1日から秋田市上北手の秋田県ゆとり生活創造センター(遊学舎)の中に移転しました。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

予告 第3回あきたエコ&リサイクルフェスティバル

開催日

平成15年9月27日(土)、28日(日)

実施場所

秋田駅前アゴラ広場、大屋根広場、ぼぼロード

主催

第3回あきたエコ&リサイクルフェスティバル実行委員会(環境あきた県民フォーラム、(社)秋田県産業廃棄物協会、秋田県鋳業会、(社)秋田県建設業協会、秋田大学生、秋田県立大学生、秋田県)

催し物

親子で楽しめる環境に関する様々なイベントを実施します。ご家族でぜひお越しください。

出展企業・団体を募集します!

会場に用意した専用ブースにて、環境ビジネスや環境配慮への取り組みを紹介していただける企業・団体を募集いたします。

出展料...1ブースあたり2万円

(市民団体等非営利団体は無料です)

ブース規格...幅2.7m、奥行き1.8m、高さ1.8m

制限等...電気の使用は可能です。

環境配慮型製品等の販売は自由です。

原則として展示内容に関する説明担当者の配置をお願いします。

詳しくは実行委員会事務局(県環境あきたアクションチームTEL018-860-1573)までお電話ください。

昨年のフェスティバルの様子(H14.9.7(土)、8(日))



好天にも恵まれ、約3万人の来場者でにぎわいました。



大勢の子どもたちも参加して環境について学びました。



33企業・団体の皆様に出展していただきました。

クイズ

同じ量を排水に流した場合、魚が住めるようにするために必要とする水の量の多い順番は?

A. 使用済みてんぷら油 B. みそ汁 C. 牛乳 D. ラーメンの汁

ヒント 使用済みてんぷら油200mlを浄化するのに必要な水の量は浴槽(300ℓ)200杯分

牛乳200ml 浴槽10杯 みそ汁200ml 浴槽4.7杯

ラーメン汁200ml 浴槽3.3杯 米のとぎ汁2ℓ 浴槽4杯が必要

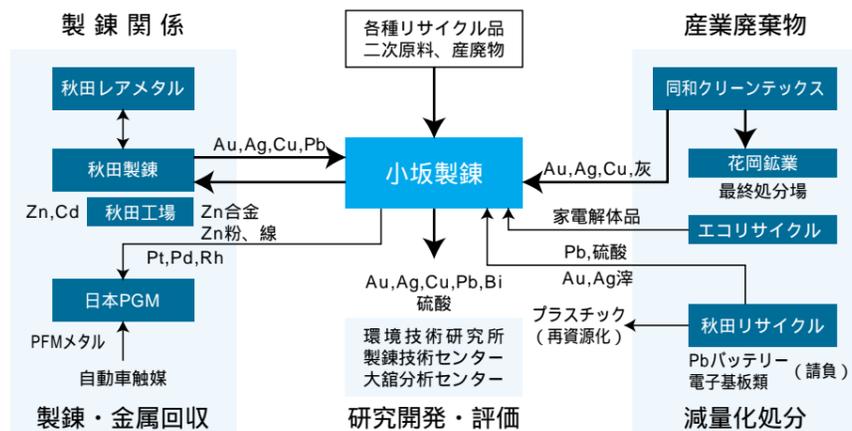
醤油10ml(スプーン1杯) 浴槽1杯

北鹿地区環境ビジネスネットワーク 地球環境と共存共栄

同和クリーンテックス(株)・花岡鉱業(株)を含む 同和鉱業グループ

小坂製錬におけるリサイクル事業

同和グループにおける資源リサイクルネットワークの中心的役割
従来型リサイクルから産業廃棄物も対象としたリサイクル事業の拡大



(株)エコリサイクル 見学風景



(株)エコリサイクルの手分解

秋田県北部の大館市花岡地区及び小坂町では、同和鉱業グループによる広範な環境ビジネスネットワークが展開されている。廃棄物の「適正処理」と「リサイクル」がその大きな柱となっており、鉱山時代の製錬技術や、分析技術、運送業など重要な施設・設備が整っているという強みがあり、グループ内で廃棄物収集運搬、中間処理からリサイクル、最終処分に至るまで極めて透明性の高い管理を行っている。

「適正処理」の中心となるのは、中間処理を行う同和クリーンテックスと汚染土壌の浄化や最終処分を行う花岡処分場である。

中間処理は焼却が主体であり、廃棄物は800~1000以上の温度で3段階の焼却炉で処理される。焼却排ガスは約80秒までに急冷することでダイオキシン類の発生を防止し、細かな塵、埃も集塵機で取り去ったあとに大気放出し、残った焼却灰は隣接する花岡鉱業最終処分場に埋め立てられる。排ガスを浄化した排水などは、無害化した後に大部分を焼却工場で再利用し、残りは水質基準を満たすレベルで、花岡鉱業の鉱水処理設備を介して河川に放流する。

エアコン・冷蔵庫などの使用済み家電については、花岡地区のエコリサイクルの屋内保管場に運ばれ手分解されたのち、オゾン層破壊の原因となるフロンガスを破壊処理する工程をとっており、本体の断熱ウレタンなどに含まれる微量のフロンも大気中に放出せず、連携している同和クリーンテックスで処理している。

花岡鉱業では鉱山の露天掘跡地を活用した総埋立容量約180万立方メートルの管理型最終処分場がある。この処分場は天然の粘土層を遮水シートとして活用しているため、安全性が高いものとなっている。廃棄物の受け入れ・管理も厳しく行

い、処分場の浸透水も処理施設に送りダブルチェックのあと放流される。こうした企業努力の結果、かつての「夢の島」といったイメージとは全く違うクリーンな処分場となっている。ところどころにクローバーなどが群生しているのも、ほっとさせられる風景である。平成17年春には、この処分場のほかに小坂製錬所有地に270万平方メートルの最終処分場が供用開始となる予定で、役目を終わった「物」たちのたどり着く場所までの安全な管理体制が確認できる。

もう1つの柱である「リサイクル」については、グループ全体で連携し完結したネットワークをつくり出している。余り知られていないが、携帯電話などから回収される金は金鉱山に匹敵する含有率ともいわれる。また、銅や鉛の回収はもちろんのこと、電子基盤などに含まれるレアメタルと呼ばれる希少金属類、自動車の排出ガス浄化に使用されている白金類、ボタン電池等の銀などを、廃棄物の破砕・焼却の処理段階で粗原料として回収している。同和クリーンテックスや花岡鉱業などの処理過程で回収された金属類は小坂製錬に運ばれ、純度の高い金属製品として生まれ変わり、再利用されている。

なお、最近あちこちで大きな問題になっている土壌汚染だが、花岡鉱業では重金属を含む土壌を有用な資源として捉え、選鉱の技術・設備を活かして金属・土壌のリサイクルを行っている。船便などで運ばれ持ち込まれる汚染土壌に含まれる金属は製錬材料としてリサイクルされ、また浄化された土壌は覆土材・埋立材として役立てている。洗浄水は工程内で繰り返し使用され、余剰水は適正処理した上で放流される。

このほか、地域から排出される各種廃プラスチックは圧縮して焼却炉の助燃材として焼却工程で使用し工場内での循環・再利用も確立しており、この結果、化石燃料の使用量を大幅に節約している。



集められた基板



小坂



花岡鉱業最終処分場

最近では、環境保全に高い関心を寄せる企業などが、連日のようにこの北鹿地区の同和鉱業グループの見学・視察に訪れ、自社製品の廃棄物としての最終的な処分状況を確認している。一般の見学者についても、子供からお年寄りまで幅広い年齢層の受け入れをしている。

同和クリーンテックスでは、15年前から毎年みどりの日に大館市民に苗木のプレゼントをしたり、遊休地への植林や不法投棄物の撤去のボランティア活動も行っている。今年度からは高校生のインターンシップも始まり、地域や社会に積極的な情報公開をしている。

同和クリーンテックス(株)

〒017-0005 秋田県大館市花岡字堤沢42

TEL 0186-46-1436

FAX 0186-46-3628

花岡鉱業(株)

〒017-0005 秋田県大館市花岡町字堤沢42

TEL 0186-46-2311

FAX 0186-46-1651

大潟村でエコノ・ムーブレース

世界初の燃料電池部門に秋田工業高校も初参加！

省エネ自動車レース「2003ワールドエコノムーブ」が5月4日、大潟村で行われた。ことし新設され、世界初となった燃料電池部門には12チームがエントリー。他部門でも実績のある「ヨイショット！ミツバ」チームが平均時速27kmの好タイムで50周を突破し優勝。

同部門初参加の秋田工業高校は11位という成績だったが、前日の公式練習より3周多い12周と健闘した。

秋工チームはメカクラブ所属の8名で、うち2名は女子。鉛蓄電池部門では車体の大きさの都合もあり女子がドライバーとして乗車している。この車体のほとんどは廃品利用

でつくられており、指導する先生の苦労がしのばれる。

来年も参加する予定の2年生部員は、レースでの記録更新に意欲を燃やしている。楽しみながら次世代エネルギー車にチャレンジしている高校生が、とても頼もしく見えた。

レースに先立って、2日、燃料電池車の研究者である本田技術研究所の佐藤登氏(十文字町出身)による基調講演とパネルディスカッションが行われた。未来のエネルギーとして期待されている燃料電池は酸素と水素を結合させて電気をつくるというもの。CO₂排出ゼロという夢のようなエネルギーだが、ぜひ実用にこぎつけてもらいたいものだ。



燃料電池の講演風景



エコノムーブのレース風景



秋工Infinity号とメカクラブの皆さん

燃料電池については
<http://www.nef.or.jp/what/whats08.html>
 レースについては
<http://www2.ogata.or.jp/wem/wemgp/03wemgp/no2/032gpall.html>
<http://www.jonasun.com/hiroweb/jonasun-nikki-03-5-7.html>
<http://www2.ogata.or.jp/wem/03wem/03wem.htm>

八郎湖クリーンアップ作戦

6月1日(日)早朝、八郎湖流域と流入河川のある13市町村を挙げてクリーンアップ作戦が行われた。今年で22回目を迎えたこのクリーンアップ作戦(八郎湖水質対策連絡協議会主催)は八郎湖の水質保全対策の一環として昭和56年に始まったもので、今年も町内会、婦人会、自治体職員、漁協、釣友会、消防団、大学、自衛隊などさまざまな団体の参加があり、参加者数は5,885名に上った。

午前5時から湖岸や八郎湖に流入する川の岸辺でごみの回収が始まり、実施距離の延長は198kmに及び、

ごみの定番といった空き缶、空きびん、発泡スチロール、タバコのパッケージなどに加え、ホイール付きの古タイヤ、放置自動車まであり、モラルの低さに参加者のため息を誘っていた。再放流禁止のためか、ブラ



男鹿市

ックバスの死骸が目立ったことが今年の特徴といえる。参加者の手によって回収されたごみの総量は約52トンにもなり、初夏の八郎湖周辺はここしばらく良環境といえるだろう。



八郎湖

みんなで作ろう！きれいな秋田

「あきた・ビューティフル・サンデー」



「あきた・ビューティフル・サンデー」？

県内では、春先の雪解け時やお盆前、秋口などに、市町村や自治会組織などが主催する地域のクリーンアップ活動が行われています。

秋田県では、これらの活動が県土全体の美化につながるという共通の目的意識を持って活動していただくため、今年は4月20日(日)を「あきた・ビューティフル・サンデー」として、雪解け後の身近な環境をみんなできれいにするための活動の日としました。

例年は4月第2日曜日をあきた・ビューティフル・サンデーとしていますが、今年は第2日曜日が県議会議員一般選挙の投票日のため、第3日曜日としました。来年以降は、第2日曜日に戻します。

実施状況は・・・

県では、ポスターや県内全小中学生に配布したチラシ、板東久美子氏(元副知事)と滝田栄氏(俳優)が主演のテレビCMなどで広報し、市町村などのクリーンアップ活動への参加や自宅のまわりなど身近な場所のクリーンアップを呼びかけました。

4月20日のあきた・ビューティフル・サンデー当日は、くもりのち雨のあいにくのお天気でした

が、55の市町村で一斉や一部地区のクリーンアップが実施されました。ボランティア団体の国道や河川のクリーンアップなどを含めると、全県で11万人以上の方がクリーンアップ活動に参加しました。

昨年は、43市町村で8万2千人以上の方の参加でしたので、みなさまのご理解ご協力のもと着実に美化活動の輪が広がっています。

4月は「あきた・クリーン強調月間」

また、秋田県では、4月の1か月間を「あきた・クリーン強調月間」ともしており、あきた・ビューティフル・サンデーに限らず、4月は県内のあちこちでクリーンアップが行われました。こうした活動にも積極的に参加していただくことで美化活動の輪を広げ、県民総参加でつくる「公園のように美しいふるさと・秋田」を目指しています。

みなさまのちょっとした活動がきれいな秋田を作ります。

ご意見やお問い合わせは、県環境あきたアクションチーム(電話018-860-1571)までお寄せください。



このうら・ビューティフル・サンデー(4月6日金浦町・金浦漁港飛分港)



千秋公園をクリーンアップする寺田知事

環境カウンセラーのつばやき

「探鳥会」

あきた環境カウンセラー協議会会長 伊藤 信義

一人で野山や水辺を歩いて、鳥を見るほかに探鳥会など大勢の人と一緒に見ることもあります。リーダーの方が、見つけた鳥の名前や場所を教えてくださいますが、建物や木の陰のことが多く、なかなか探せません。それでも双眼鏡の中に鳥が入ったときは感激で、「見えた!」と叫んでしまいます。



千秋公園

季節や天候の関係で、鳥の出ないときは参加者の中で雑談が始まり、家庭や職場の話になると、オオルリ、キビタキ、コマドリなど、どんな鳥が現れても、おしゃべりは続きます。また、山の中ではポリ袋を持ったタケノコトリも出現します。このトリはどんどん増えていき、ウドトリが出るともう先に進めなくなります。豊かな自然の中で人や鳥の多様性が見られる探鳥会を私は好きです。

東北環境カウンセラー協議会の開催

日時 10/30(木) 13:30~15:30
 会場 森林交流館クリプトン(河辺町) 018-882-4811
 講演 菅原 拓男(秋田大学教授) 伊藤 哲弥(環境カウンセラー)
 講演の後、ディスカッションを行う予定となっており、どなたでも参加できますので、お待ちしております。
 連絡先 伊藤信義まで
 ・Fax 018-868-2790(夜間)
 E mail : RXR02473@nifty.ne.jp

環境保全功労者表彰

環境保全、地域環境保全及び地域環境美化に関して顕著な功績のあった個人、または団体の表彰で、秋田県在住者からは、環境保全、地域環境保全及び地球環境美化の全分野において各1名ずつが選出された。

なお、木川弘さんは、当環境あきた県民フォーラムの幹事として設立より今日まで活躍されておられる。

秋田県の環境大臣賞受賞者

「環境保全功労者表彰」

松本 聡(62歳 秋田市)

秋田県立大学生物資源科学部教授
 功績内容

土壌生態学、環境化学、環境分析化学を専門とし、不良土壌の改良や土壌荒廃の修復、水質改善など深い知見を有し、「四万十川方式」と呼ばれる水質浄化装置の考案などめざましい活躍をされている。

「地域環境保全功労者表彰」

木川 弘(73歳 秋田市)

秋田市クリーンアップ作戦を進める会顧問
 功績内容

昭和37年秋田県五城目保健所勤務以来一環して環境衛生指導員として環境保全、美化活動の普及に努める。定年退職後、現在まで秋田市クリーンアップ連絡協議会会長を務め、地域活動を積極的にリードし、その結果、河川・海岸の廃棄物不法投

棄防止運動の気運の高まりなど大きな指導効果を上げた。

「地域環境美化功労者表彰」

佐藤 信吉(75歳 比内町)

比内町美しい郷土づくり運動の会長
 功績内容

昭和56年から長年「比内町美しい郷土づくり運動の会」会長として清掃・緑化等の実践活動と環境保全への意識啓蒙を行うなど、比内町及び大館北秋地域の環境美化・生活環境改善に努力した。

上記表彰は平成15年6月9日に東京千代田区の東条インベリアルパレスにて行われた。